

令和３年度 第１回守山市健康づくり推進協議会議事録

日時：令和３年８月４日（水）

午後３時３０分から午後４時５０分まで

場所：地域総合センター２階 研修室

１ 出欠状況

（１）出席者（１１名）

岡村会長（リモートによる出席）、福田副会長、岡本委員、朝見委員、山崎委員、中田委員、今井委員、中井委員、小林委員、遠藤委員、北野委員

（２）欠席者（４名）

飯田委員、林委員、黒橋委員、高田委員

（３）事務局（９名）

沖田健康福祉部理事、神藤健康福祉部次長

すこやか生活課 森口課長、中吉参事、市川係長、民辻係長、金沢係長、阿部主査、百田主査、中野歯科衛生士、岩波主任、大田事務員

（４）関係課（３名）

健康福祉政策課 犬丸参事、生活支援相談課 青木係長、地域包括支援センター 安田係長

（５）傍聴者 なし

２ 内容

（１）開会

（２）会長および副会長の選出について

会 長：岡村 智教 委員、副会長：福田 正悟 委員

※当日は、岡村会長がリモートによる出席のため、会議の進行については福田副会長が代行。

（３）報告事項

ア 健康関連計画の推進体制と概要について

イ 各健康関連計画の今後の方針について

事務局	資料１、資料２について説明
岡村会長	守山市は市の状況を非常に的確に判断し、関係部局と協力するなか、健康づくりをうまく進めている印象である。 計画倒れにならず、どのように実行していくかという視点で、引き続き、全国のお手本となるような計画を作っていただきたい。

(4) 協議事項

ア 守山市の現状と課題、令和３年度の実施予定について

- ・働き世代、健康無関心層へのアプローチ
- ・ICTを活用した相談および講座配信

事務局	資料３－１・３－２について説明
福田副会長	ご意見・ご質問は。
岡村会長	ICTを活用した健康づくりの推進（資料３－２）について、これまでの取組で学区民の集いや健康相談・保健指導等を実施した年齢構成は把握しているか。ICTに切り替えた時に、どの年齢層を対象とし、ICTについて来れない人はどの程度出そうなのか。想定はどのように考えているのか。
事務局	ICTを活用したオンライン相談については、これまでの対面に加えて、非対面という選択肢を広げる取組として実施している。そのため、今までの事業の年齢層に加えて、若い方・働き世代の方にもスマホ等利用して参加していただきたいと考えている。
岡村会長	今までの対象者から更に広げていくという認識か。
事務局	はい。これまでの対象者で対面が難しい方にはオンラインもあり、更にこれまで参加頂けなかった方にも気軽に参加頂きたいと考えている。

(5) 部会からの協議・報告事項

ア 協議：成人期における定期的な歯科受診への促進策について【歯科】

事務局	資料４－１・４－２について説明
福田副会長	歯科に関してご意見・ご質問は。では岡本先生お願いします。
岡本委員	先日の歯科部会で協議させていただいた内容を挙げている。 資料４－１について、成人期全体で見た場合、歯周病検診事業で実施しているハガキの啓発において、そもそも歯に関心を持っている方は良いが、歯科から離れている方達に歯に関心を持っていただきたいと考えている。歯科に関心のない方への周知が大変難しいので、ご意見いただきたい。 また、ハイリスクの方については、糖尿病等の全身疾患と歯周病が、近年の研究結果で密接に関係があるということが明確になってきている。医科歯科連携をもっと密にしていきたい。歯周病が治りにくい方は、糖尿病を疑うなど逆の視点での治療も必要ではないかと考えている。 また、歯科受診困難者については、歯科部会で障害者施設の方か

	ら、緊急対応での痛み対応などは行っているが、その先の定期健診にはつながらないという意見があった。どうしても歯科は優先順位が低くなってしまう状況である。
福田副会長	歯科について皆さんのご意見をお願いします。
岡村会長	生活習慣病に着目して歯科受診をすすめていることを是非広げていってほしい。
福田副会長	歯科は非常に大切な分野だが、医科歯科連携がなかなか進んでいない。皆様のご意見をいただき、参考にしたい。
今井委員	個人的には、歯科健診を定期的に受診し歯周病検診も受けている。歯科医院からハガキをもらって定期的に行っている。健康推進員の中でも歯科について話を広めていけたらと思う。
福田副会長	是非お願いしたい。
中井委員	検診だけ行くのはなかなか行きにくい。一応かかりつけの医院はあるが、実際にはなかなか行っていない。
福田副会長	身体障害者の方には主治医の方が必ずおられるのか、おられない方もいるのか。
中井委員	内科の先生にはかかっている。
福田副会長	その先生と連携することができればと思うので、その際にはよろしくお願いします。
小林委員	個人的には歯科には 40 年以上行ってない。70 歳を過ぎたので歯周病は意識している。かかりつけの歯科医院はない。今回協議会に参加し自身の意識を高める機会になった。 スポーツ推進委員の会議にもフィードバックしていきたい。
福田副会長	スポーツをしている方は力を入れる際に歯をくいしばる。スポーツと歯科の関係は。
岡本委員	よく言われる食いしばりには、マウスピース・マウスガードがある。 食いしばりは歯並び・噛み合わせが悪いと力を発揮できない。その観点からも歯科は重要。スポーツ歯科は専門外だが、言っていただければ何か協力できる。
福田副会長	スポーツと歯も関連があるので他の会議などでも周知をよろしくお願いします。
遠藤委員	歯科にはよく行っているが、治療だけで歯周病検診には全く関心がない。職場の方に何らかの形で啓発に来ていただければありがたい。

	去年は新型コロナウイルス感染症の影響でできていないが、社協の介護事業で在宅歯科医療連携室から歯科衛生士さんに来ていただいて口腔ケアを実施している。職員も口腔ケアに関心を持っている。検診を職場で行うことは難しいが、啓発はしていただきたい。
福田副会長	まさしくその通りだと思います。在宅歯科がすすんでいないのが現状。医科も歯科の先生と連携するにあたってそこが一番ポイント。社協はデイサービス等もある。ケアマネージャーさんの意識も大切。その辺りの連携もしっかりやって歯の大切さを訴えていけないといけない。
北野委員	通常健康診断は事業主の義務であるが、歯科健診は任意の自己負担受診である。歯科受診につながるような国の取組や歯科受診のきっかけづくりで企業に求められることがあれば一層受診につながるのではないかな。
福田副会長	そういう事業の展開を市の方も一緒になってやっていただきたい。
朝見委員	守山市の人口はこれからも増加し、いずれは高齢化を迎える。栄養面では咀嚼と嚥下というところが大きく影響してくる。高齢化すると低栄養も問題になってくる。在宅歯科の診療も今後重要になってくる。栄養士との連携も検討していただきたい。
山崎委員	歯に関心は持っていないくて、歯が痛い時だけ診察に行く状況だった。私達の年代はあまり歯に関心を持っていなかったが、自分の子どもや孫たちはかなり歯を大切にしている。歯に対する意識が高い。学校での歯の取組などが関係していると考えている。
福田副会長	高齢者についても関心を高める必要があるので、その年齢層の啓発をしていきたいのでお願いします。
中田委員	民生委員活動のなかで、歯の話題をあまりしたことがない。個人的には定期的に歯科に受診しており、歯科受診は非常に大切だと感じている。
福田副会長	民生委員さんには是非歯科受診の必要性を伝えていただきたい。
今井委員	歯科医院で歯周病の検診の案内はないのか。
岡本委員	歯科医院に通われている方は歯石取りや虫歯チェックなどが多いのではないかな。歯周病予防については、あまり案内はしていないのかもしれない。
今井委員	歯周病についての啓発リーフレットなどもいただければありがたい。

岡本委員	在宅歯科医療連携室の方がリーフレットを配布している。10 年くらい前から比べるといろんな方法で周知している。訪問歯科等知らない方も多いが継続して地道に周知していきたい。
福田副会長	在宅医療をしていると、訪問歯科をお願いすることもある。在宅医療と訪問歯科は同体で動いている。 啓発については、行政側にもお願いする。

イ 報告：新型コロナウイルス感染症の影響による相談への取組について【自殺】

事務局	資料 5－1、5－2、5－3 について説明
福田副会長	ご意見・ご質問は。
岡村会長	特定保健指導のオンライン相談は委託事業かあるいは市が直接しているのか。オンライン相談は何者が出てくるか分からないから敷居が高いのではないかな。
事務局	申し込みがあった方に保健師等が行っている。今年度はすでに 2 件健康相談を実施した。依頼者とコミュニケーション取りながら実施していきたいと考えている。
福田副会長	「生活困窮者への重層的支援体制」について、具体的にはどういうものか。
事務局	制度のはざまにある行政の担当窓口がないケース、8050 問題、ダブルケアをかかえているケースは支援が難しいという現実がある。今年度より重層的支援体制を組み、世代や属性を問わず相談を受ける。関係機関との連携や訪問型事業を行っている。一歩踏み込んだ対応をして本人に必要な支援を行ため、重層的支援会議を運営し、関係課の係長が集まって困難ケースについて解決していく。長期間ひきこもりの方、支援の届かない方に対してアウトリーチ事業を行っていきたい。
福田副会長	ありがとうございました。資料 5－1 のスクールソーシャルワーカーは全小中学校にいますのか。
事務局	4 人のソーシャルワーカーが各校を回っている。
福田副会長	4 人なら『市内小中学校全てにスクールソーシャルワーカーを配置』と書くのはいかなものか。2 週間に 1 回くらい回って問題があれば話し合っていくということですね。分かりました。
山崎委員	資料 3－1 の自殺者データが資料 5－1 の取組・課題・対応策にどのように反映されているのか、資料上では分かりにくい。資料 3－1 の自殺の原因・動機は健康問題が 1 番多いが、資料 5－1 こども・若者への支援、高齢者への支援、生活困窮者への支援、

	無職者・失業者への支援、働く人への支援のどれに対応しているのか。 自殺の原因で健康問題そのものが原因なら、例えば5%減らそうとか具体的な対策を。いろいろ言っているが、どこに主眼をおいているのか見えない。
福田副会長	主題をきちんと見極めてデータと対策のひも付けがほしいということ。
事務局	ご意見ありがとうございます。ご指摘はごもっともです。 自殺者数については、母数が非常に少なく、ここを徹底的にというものを抽出するのは難しい状況です。そういった中で、人数が多いところや年代的にも多いのではないかとこのところ的重点的に取り組んでおります。
福田副会長	岡村会長ご意見お願いします。 実施している取組がデータを元にやろうとしているのかということ。自殺でいえば、資料3-1の自殺のデータが、資料5の施策に本当に効果があるというひも付けがあるのか。
岡村会長	まず、市町村単位での自殺対策は非常に難しい。人数が少ないため、なかなか評価が出来ない。出来る限りのところに手をうっておくことが必要。この規模の市の数字で評価するのは難しい。 出来そうな対応はしておく。いろんな世代に打てそうな対策はしておくことが重要。
山崎委員	自殺の人数は何人か。
事務局	令和2年度は10名、令和元年度は11名。
山崎委員	わかりました。もう少し具体的に、40～50歳代が多いから働き世代に健康問題の改善を、というようにデータと関連して課題や対応策を示してほしい。
福田副会長	ご意見ありがとうございます。以上で令和3年度第1回守山市健康づくり推進協議会を終わります。